

武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行・印刷

見る／学ぶ／訪ねる／

武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

【住所】 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10
【電話】 042-323-4103 【FAX】 042-300-0091
【E-mail】 museum@city.kokubunji.tokyo.jp
【HPアドレス】
http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html

2016.1
第24号



最近の行事から



「第10回全国国分寺サミット2015 IN 沓崎国分寺」開催

平成27年10月17～18日の両日、「第10回国分寺サミット in2015 沓崎国分寺」が開催されました。全国国分寺サミットは、平成12年に豊前国分寺の福岡県豊津町（現みやこ町）長の発案で、国分寺の史跡という共通の地域文化資源を活用した街づくり、地域づくりについて活発な議論を行い、地域間の交流と人づくりを図ることを目的として発足し、今回で10回目を数えます。

国分寺市では、平成21年度の第7回サミットを開催しましたが、今年度は、沓崎国分寺が所在する長崎県沓崎市が会場市となり、大和・下野・武蔵・尾張・伊賀・志摩・山城・但馬・美作・筑前・沓崎の国分寺のある全国11市町が参加しました。

大会初日は、開会式の後、第1部は、国重要無形文化財沓崎神楽特別公演及び長崎国際大学名誉教授の立平進先生による「国境にある島につくられた国分寺の意義」の記念講演会、第2部は「全国・国分寺お国自慢」と「我が町の国分寺の存在」をテーマとしたパネルディスカッションが行われ、最後に国分寺の史跡を末永く保護・継承し、生涯学習や地域交流の拠点として住民と協働しながら積極的に活用していく旨を謳った共同宣言が承認されました。「お国自慢」では、国分寺市は武蔵国分寺跡のほか、ペンシルロケット発射実験や新幹線ひかり号開発の地であること等を紹介しました。「パネルディスカッ

ション」では、展示施設等での公開・普及活動を報告し、他自治体との情報交換が活発に行われました。

二日目はエクスカッションが行われ、沓崎古墳館・掛木古墳・双六古墳・沓崎国分寺跡・一支国博物館を視察しました。

このうち、沓崎国分寺は、既に建立されていた沓崎直（いきのあた）の氏寺を官寺として国分寺に転用したと『延喜式』にありますが、1993年まで6年にわたる調査の結果、塔・金堂・講堂、門跡や区画溝の跡が残されていることが確認されました。遺構からは、平城京の建物の瓦と同じ型枠を使用した瓦が発見されており、当時の都と関わりが深かったと推定されています。

（島崎 進一）



「全国・国分寺お国自慢」で登壇説明する井澤邦夫国分寺市長



礎石の残る沓崎国分寺跡



軒丸瓦（左：平城京出土品、右：沓崎国分寺出土品）
※「第10回国分寺サミット2015 IN 沓崎国分寺」
基調講演『国境にある島につくられた国分寺の意義』
立平進先生 資料より抜粋

埼玉県鳩山町は、東日本最大級の古代窯業遺跡「南比企窯跡群」の中心地で、武蔵国分寺の瓦を生産していました。鳩山町と国分寺市は、瓦の生産地と消費地という往時のつながりを生かして文化財を通じた交流・連携を平成 25 年度より進めています。

平成 25・26 年度は古代技法による瓦づくり体験教室・市外・町外文化財めぐりを実施し、制作された瓦の一部は、史跡武蔵国分寺講堂跡の復元工事基壇西面の瓦積外装に活用し、平成 26 年度に両町市民の皆さんの手によって瓦を基壇に積むイベントを開催しました。

【平成 27 年度の連携事業】

平成 27 年度は、市外文化財めぐり（国分寺市主催）、企画展示・歴史講演会（鳩山町主催）を連携事業として実施しました。

①市外文化財めぐり（国分寺市主催）

バスで埼玉県坂戸市と鳩山町に行き、文化財めぐりを行いました。鳩山町では、国分寺市民と鳩山町民が一緒に、窯跡（石田遺跡）、企画展示（鳩山町主催）を見学し、歴史講座（鳩山町主催）への参加をしました。

実施日：平成 27 年 12 月 13 日（日）

場 所：埼玉県鳩山町・坂戸市

参加者：43 名

②企画展示（鳩山町主催）

武蔵国分寺跡とその瓦生産地である鳩山町所在の南比企窯跡群について企画展示が開催され、両遺跡の出土瓦等が展示されました。生産地と消費地の関係を明示するために、南比企窯跡群から供給され、武蔵国分寺跡の発掘調査で出土した瓦（文様が同じ型枠で作られた軒先瓦（同範瓦）や、同じ印によって瓦に記載された郡名文字瓦（同印文字瓦））が南比企窯跡群出土瓦とともに展示されました。

期 間：平成 27 年 12 月 11 日（金）～ 13 日（日）

場 所：埼玉県鳩山町 中央公民館

③歴史講座（鳩山町主催）

市民・町民対象に、武蔵国分寺とその瓦生産地である南比企窯跡群の紹介や、国分寺市と鳩山町との連携事業について、各市・町職員を講師として歴史講座を実施しました。

実施日：平成 27 年 12 月 13 日（日）

場 所：鳩山町役場



鳩山町主催の企画展示の様子



鳩山町主催の歴史講座の様子

文化財を通じた他市町村との連携事業は、今年度から埼玉県坂戸市とも行っています。坂戸市は、武蔵国分寺と同じ瓦が出土する勝呂廃寺や東山道武蔵路が所在するなど国分寺市との深いつながりがある地域です。今年度は、合同企画展「東山道武蔵路を探る～路でつながる古代の国分寺と坂戸～」の開催や市外文化財めぐりでは坂戸市所在の文化財を見学しました。

勝呂廃寺は、武蔵国分寺と同じく南比企窯跡群から瓦が供給されており、3 者は古代寺院とその生産窯として、鳩山町・坂戸市・国分寺市を強く結びつけています。これらの文化財を活用し、今後とも、市民・町民を介した地域間の交流が促進され、多くの方々に歴史や文化財への理解を深めていただけるように、他市町村との連携事業を進めていきたいと思っております。

・南比企窯跡群

南比企窯跡群は、鳩山町を中心に同嵐山町・ときがわ町・東松山市にかけて広がる、東日本最大級の窯跡群です。6 世紀初頭から 10 世紀前半頃まで須恵器や瓦を生産していました。7 世紀後半には石田遺跡（鳩山町）などで勝呂廃寺（坂戸市）の瓦や須恵器を生産するようになり、8 世紀半ばになると、新沼窯跡（鳩山町）を中心に、武蔵国分寺創建期の瓦が大量に生産されました。その後は、9 世紀には鳩山町域での生産が衰退し、かわって嵐山町の將軍沢・ときがわ町の亀ノ原に生産の拠点を移し、武蔵国分寺の整備・拡充期の瓦や須恵器が生産されるようになります。

・勝呂廃寺

勝呂廃寺（埼玉県選定重要遺跡）は、坂戸市に所在し、7 世紀後半頃に建立され、9 世紀まで存続したと考えられる古代寺院です。発掘調査によって大型建物や基壇、大溝、住居跡などが確認されています。勝呂廃寺の出土瓦には、天平 13 年（741）の国分寺建立詔によって建てられた武蔵国分寺の創建期の瓦と同じ文様の瓦があり、国分寺の造営と関係があった寺院であることが指摘されています。

（中道 誠）

武蔵国分寺跡資料館夏季企画展 開催報告



武蔵国分寺跡資料館では戦後 60 周年を記念して、平成 27 年 7 月 18 日 (土) から 8 月 30 日 (日) の 38 日間、夏季企画展「国分寺市の戦争記録」を開催しました。企画展期間中の来館者数は、延べ 1,067 名となりました。来館された方々は、戦時中の生活や国分寺市に残された戦争の痕跡を熱心に見学されていました。

企画展期間中来館者数

月	来館者数	開館日数
7	345	12
8	717	26
計	1,062	38

INFORMATION

Events

多摩郷土誌フェア



第28回多摩郷土誌フェアが開催されます。多摩郷土誌フェアでは、多摩地区27市町の郷土・歴史・文化財に関する書籍を展示即売しております。話題の新聞図書も用意していますので、この機会にぜひご来場ください。

【開催期間】平成 28 年 1 月 23 日 (土)、24 日 (日)
 【時間】午前 10 時～午後 5 時(24 日は午後 3 時まで)
 【主催】東京都市社会教育課長会文化財部会
 【会場】立川市女性総合センターアィム 1 階健康サロン (立川市曙町 2-36-2)
 立川駅北口より歩行者デッキで徒歩 7 分
 ※駐車場はありません。車でお越しの際は隣接する有料駐車場をご利用ください。

【参加市町村】

八王子市・立川市・武蔵野市・三鷹市・青梅市・府中市・昭島市・調布市・町田市・小金井市・小平市・日野市・東村山市・国分寺市・国立市・福生市・狛江市・東大和市・清瀬市・東久留米市・武蔵村山市・多摩市・羽村市・あきる野市・西東京市・瑞穂町・日の出町

【ご案内・問合せ先】

清瀬市郷土博物館 042-493-8585
 清瀬市ホームページ
<http://www.city.kiyose.lg.jp/>

※国分寺市ホームページでもご案内しています。

【国分寺市の販売書籍】

国分寺市の民俗 一 (600 円)	国分寺市史料集 I 村落状況・支配関係 (2,500 円)	大昔の国分寺 (500 円)
国分寺市の民俗 二 (1,500 円)	国分寺市史料集 II 武蔵野新田開発・川崎平右衛門 (2,800 円)	アルバム 国分寺 (2,000 円)
国分寺市の民俗 五 (2,000 円)	国分寺市史料集 III 寺社・信仰・文芸 (2,900 円)	国分寺市の文化財 (500 円)
国分寺市の民俗 六 (2,500 円)	国分寺市史料集 IV 本多離軒関係 (3,000 円)	国分寺市の万葉植物 (1,000 円)
国分寺市史 上巻 (5,000 円)	国分寺市史料目録 I (1,300 円)	国分寺の民俗話 (800 円)
国分寺市史 中巻 (5,500 円)	国分寺市史料目録 II (1,700 円)	国分寺市有形文化財調査報告書 神社・寺院 (1,500 円)
国分寺市史 下巻 (6,000 円)	国分寺市史料目録 III (2,000 円)	見学ガイド 武蔵国分寺のはなし
	ふるさと国分寺のあゆみ (1,200 円)	(改訂二版増補版) (400 円)
		市制施行 50 周年記念 国分寺市の今昔 (1,500 円)

(※書籍は武蔵国分寺跡資料館でも販売しています)



過去に開催された多摩郷土誌フェアの様子

来館者数

2009 年 10 月 18 日～2015 年 11 月末日

来館者数累計 93,644 名

多くのご来館ありがとうございました

月	来館者数	開館日数
10	2,190	27
11	2,855	25
計	5,045	52

【10 月～11 月の学校見学】

(学年)・(人数)、中＝中学生、高＝高校生、大＝大学生、院＝大学院生

<市内>第二小学校〔小3〕(127)、第三小学校〔小3〕(133)、第五小学校〔小3〕(71)、第七小学校〔小3〕(127)、第二中学校〔中1〕(30)、早稲田実業学校中等部〔中1〕(252)

○来館者数は、おたかの道湧水園の入園者数

<市外>武蔵台学園〔高1〕(22)、東京農工大学〔大〕(21)、創価大学〔大3・大4〕(18)、

お正月も徐々に過ぎようとしています。1月15日は小正月と呼び、様々な年中行事が行われます。そのうちの一つに「どんど焼き」という年中行事があります。お正月に飾った門松やお札などを、神社の境内などでお焚き上げし、その火で炙った団子を食するという行事です。神聖な火で炙るため、団子を食すると一年間健康でいられるといわれます。

国分寺市内では本多八幡神社（本多）や熊野神社（西恋ヶ窪）、北町の神明社（北町）、西町の神明社（西町）でどんど焼きが行われています。どの神社でも、小正月に近い日取りで行われており、長い竹串に刺した団子を火で炙っています。お焚き上げの煙で参加者はたまにむせるのですが、普段は経験できない行事であるため、地域の子どもや大人たちで大変賑わいます。

昭和53年（1978）から始められた本多八幡神社のどんど焼きが、市内ではもっとも古い伝統があります。小正月に団子を食する風習は、市内の各地で非常に古くから行われていました。ただし、行事の名称はどんど焼きではなく、マユダマと呼ばれるものです。各家庭の座敷に檜などの木枝を立て、繭に似た団子を枝にたくさん刺すことから、マユダマと呼ばれるようになったようです。マユダマは、農作物や養蚕の繭がたくさん得られるよう、神様に供物を饗するという祈りの行事です。行事は各家庭で行われ、供えた次の日に団子をおろして食べました。

檜などの材料を得ることが難しくなったため、昭和の終わり頃から各家庭のマユダマ行事は行われなくなりましたが、同じころにどんど焼きが始められたのです。各家庭の行事から、地域住民が参加する行事となり、祈りの内容も農作物の豊作祈願から無病息災の願いへと変化しました。このように、形態と名称は変わりましたが、どんど焼きを行う神社等が徐々に増え、年中行事の一つとして国分寺市内で定着しつつあります。

（米村 創）



座敷に飾られたマユダマ（東元町）



神明社境内でのどんど焼き（平成27年1月・北町）

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内

- ※駐車場はありません
- 【電車】◎JR国分寺駅下車／徒歩約20分 ◎JR西国分寺駅下車／徒歩約15分
- 【バス】◎国分寺市循環バス『ぶんバス』日吉町ルート「泉町一丁目」下車／徒歩約8分
◎国分寺駅南口より『京王バス』系統番号<寺83>・<寺85>乗車「泉町一丁目」下車／徒歩約8分

■開館時間

午前9時～午後5時（入館は午後4時45分まで）

■休館日

毎週月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）
年末年始（12月29日から1月3日まで）
※展示替えなどで臨時休館することがあります。

■入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。（入園券は史跡の駅で販売）

一般……………100円（年間パスポート1,000円）
中学生以下……………無料

【入園料の減免規則があります】

- (1) 学校の教育活動で生徒（中学生を除く）、学生及び引率の教職員が入園するとき〔事前（5日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
 - (2) 身体障害者及びその介護者が入園するとき〔発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。〕
 - (3) その他教育長が特別の理由があると認めるとき〔事前（5日前まで）に減免申請書の提出が必要です。〕
- ※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。



ホームページQRコード